

# 相模原のリニア車両基地『まるで空港』長さ2キロ

## 「山林を破壊、地域を分断 地権者意見陳述

神奈川県相模原市鳥屋地区に予定されているリニア新幹線車両基地について、予定地内に土地を所有する原告の栗原晟(あきら)さんが意見陳述を行った。



まるで空港、車両基地予想図 JR東海の作成資料より  
車両基地の規模は、長さ2キロメートル、最大幅350メートル、面積50ヘクタール、標高310メートルとされている。  
車両基地は集落のほとんどの建造物よりも高い位置に建設される。

### 栗原さんの意見陳述内容（一部）

私は、神奈川県相模原市緑区鳥屋に居住しており、関東車両基地建設予定地一帯の山林を所有しています。この辺りの県道沿いの民家の多くがそうであるように、栗原家も江戸時代の頃からこの地域で暮らしてきました。先代はこの地域で学校の教員を務め、私は現在民生委員などを務めております。

私が、この地域に車両基地が建設予定であることを最初に知ったのは、2013年9月の「鳥屋に車両基地」と題する記事でした。記事を読んだ当初はどんなものができるのか全く見当がつかず、まさかこんなに大きなものができるとは思いませんでした。同じく9月に JR 東海は環境影響評価準備書を公開していました。周囲の人はあんな分厚い物が読めるかと言っていました。私としては、地域にとっては重大事であり、賛成反対の結論は別としてまずはどういふものが出来るのかを知りたいと思い読むことにしました。

準備書に記載されていた地図はたんに四角い点線で該当地域を囲んだだけのものであり、どの地番の地が工事の対象になるのか、車両基地の操業によってどの程度近隣の住環境に影響が生じるのか正確には分かりませんでした。ただ、リニアの必要性については疑問を感じましたし、工事量車両がピーク時には1日1000台以上も走行することが分かりました。残土処理捨て場を作るためにこのような場所に車両基地を作っているのではないかと考え、こんなもののために町の間人が土地を奪われ、退去させられるのは堪らないと思うようになりました。